

# 年間教授計画 2026年度 (4月～2月)

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間	単位数
資格対策	クラス: 1年 F組 学科: ビジネス科 コース: 全コース	山中	合格テキスト日商簿記3級 合格トレーニング日商簿記3級 模擬試験問題集	4 時間/週	120 時間	8 単位

授業概要	日本商工会議所主催簿記検定試験対策講義
最終到達目標	日商簿記3級の知識習得および検定試験合格、日商簿記2級工業簿記の基礎知識および個別原価計算の知識習得

月	週	単元	内容および授業方法
前期 (4月～9月)	1	日商簿記3級	簿記の基礎、日常の手続き(講義・演習)
	2		商品売買Ⅰ、Ⅱ(講義・演習)
	3		現金預金、小口現金、クレジット売掛金(講義・演習)
	4		手形取引、電子記録債権・債務(講義・演習)
	5		その他の取引(講義・演習)
	6		その他の取引(講義・演習)
	7		さまざまな帳簿、試算表(講義・演習)
	8		決算整理: 決算、現金過不足(講義・演習)
	9		決算整理: 売上原価、貸倒引当金(講義・演習)
	10		決算整理: 減価償却、貯蔵品、当座借越(講義・演習)
	11		決算整理: 経過勘定項目(講義・演習)
	12		決算整理後残高試算表、精算表(講義・演習)
	13		帳簿の締め切り、損益計算書と貸借対照表(講義・演習)
	14		株式の発行、剰余金の配当と処分、税金、証券、伝票(講義・演習)
	15		授業内試験

後期 (10月～2月)	1	日商簿記3級試験対策	模擬試験(演習)
	2		模擬試験(演習)
	3		模擬試験(演習)
	4		模擬試験(演習)
	5		模擬試験(演習)
	6		模擬試験(演習)
	7		模擬試験(演習)
	8		模擬試験(演習)
	9	日商簿記2級工業簿記	工業簿記の基礎、工業簿記の勘定連絡(講義・演習)
	10		材料費(講義・演習)
	11		労務費(講義・演習)
	12		経費、個別原価計算Ⅰ(講義・演習)
	13		個別原価計算Ⅰ(講義・演習)
	14		個別原価計算Ⅰ(講義・演習)
	15		授業内試験

成績評価方法	項目 ※1	授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	その他 ( )
	割合	前期	50%	30%		20%	
		後期	50%	30%		20%	
備考 ※2		日商簿記3級試験合格者には30点を加点する。					

※1 授業内試験: 期間内の総まとめの試験/小テスト: 単元ごとのテスト等/課題内容: 課題提出および課題の出来具合  
その他: ( ) に具体的内容を記載。(例) 外部実習評価

※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たっての留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。